

京都大学 図書館機構 概要



2010





京都大学図書館機構の基本理念と目標

京都大学図書館機構は、京都大学の基本理念に基づき、世界最高水準の教育・研究拠点に相応しい学術情報基盤としての役割を担うことを使命とする。将来にわたって、京都大学における教育・研究活動を支援し、かつ国内外の学術コミュニティに貢献するために、人類の知的資産である学術情報資源や新たに生み出される知的成果を不断に収集、整理、保存し、関連する情報を発信するとともに、常に最上質の先進的情報サービスを研究開発し、提供する。

そのため、京都大学図書館機構は以下の目標の実現をめざす。



- 1** 京都大学図書館機構は、全学の図書館機能を十全に発揮して教育・研究を支援するために、学生・教職員のニーズを把握し、それに応えることを最優先する。
- 2** 学術情報基盤としてのコレクションおよび情報サービス体制を構築するために、学術情報を適切に選定、収集、整理し、必要な研究開発を行い、それらへの最善のアクセスを提供する。
- 3** 京都大学が日々創造する世界的に卓越した知的成果の蓄積・発信を行う。
- 4** 京都大学が保有する人類の知的資産を将来にわたって利用できるような保存管理体制を整備する。
- 5** 学術情報活用のために質の高い利用者支援システムを構築する。
- 6** 図書館利用者が学術情報を有効かつ快適に活用できるように、全ての図書館スタッフのスキルおよびモチベーションの向上と、設備、施設の充実を図る。
- 7** 京都大学図書館機構を構成する組織は、相互に、また関連する学内組織との間の協力関係を強化する。
- 8** 国内外の図書館と連携し、相互協力するとともに、社会と地域に貢献する。

CONTENTS

京都大学図書館機構概要 2010

I. 京都大学図書館機構の基本理念と目標	1
II. 京都大学図書館機構将来構想	2
III. 図書館機構の構成	3
IV. 沿革	5
V. 蔵書統計	6
VI. 図書館機構の事業	7
VII. 京都大学の図書館室	17

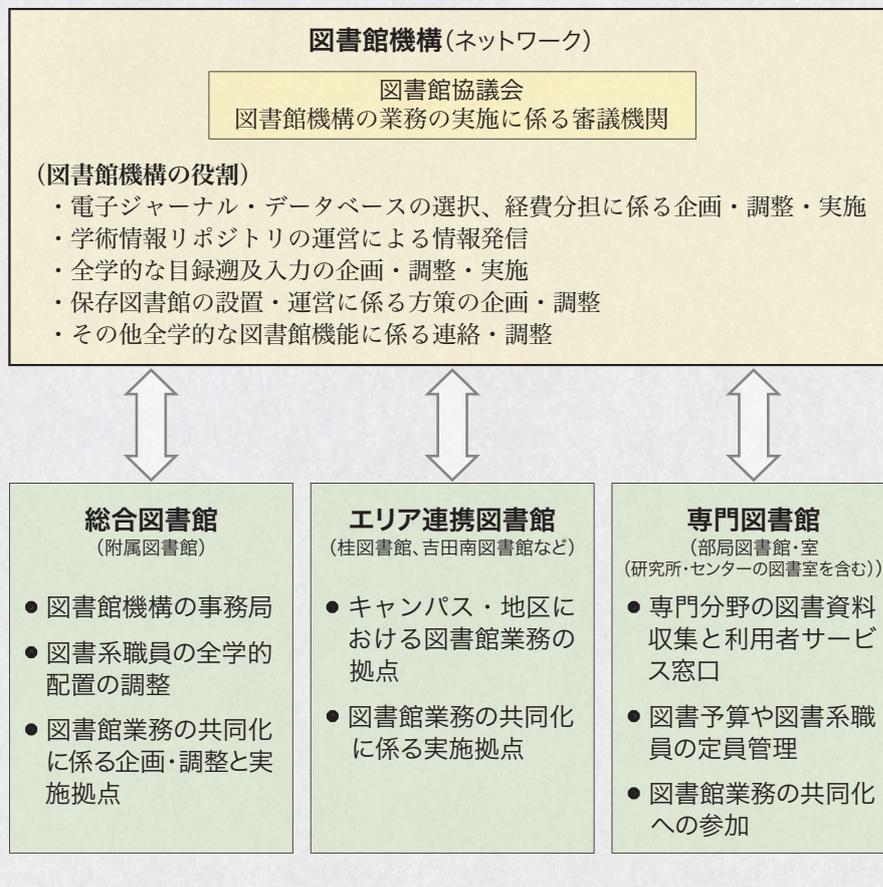


京都大学図書館機構将来構想

将来構想は、機構の基本理念と目標に則り、おおよそ10年後の京都大学の図書館のあり方を展望し、事業目標を明らかにすることを目的に、2006年8月から検討を始め、2009年12月18日に図書館協議会において承認されました。

■ 4つの基本目標

1. 全学図書館ネットワークの整備を図る
2. 図書系職員の力量の向上を図り、連携体制を強化する
3. 図書財源を安定的に確保し、系統的なコレクションを構築する
4. 図書館施設を量的・質的に整備する



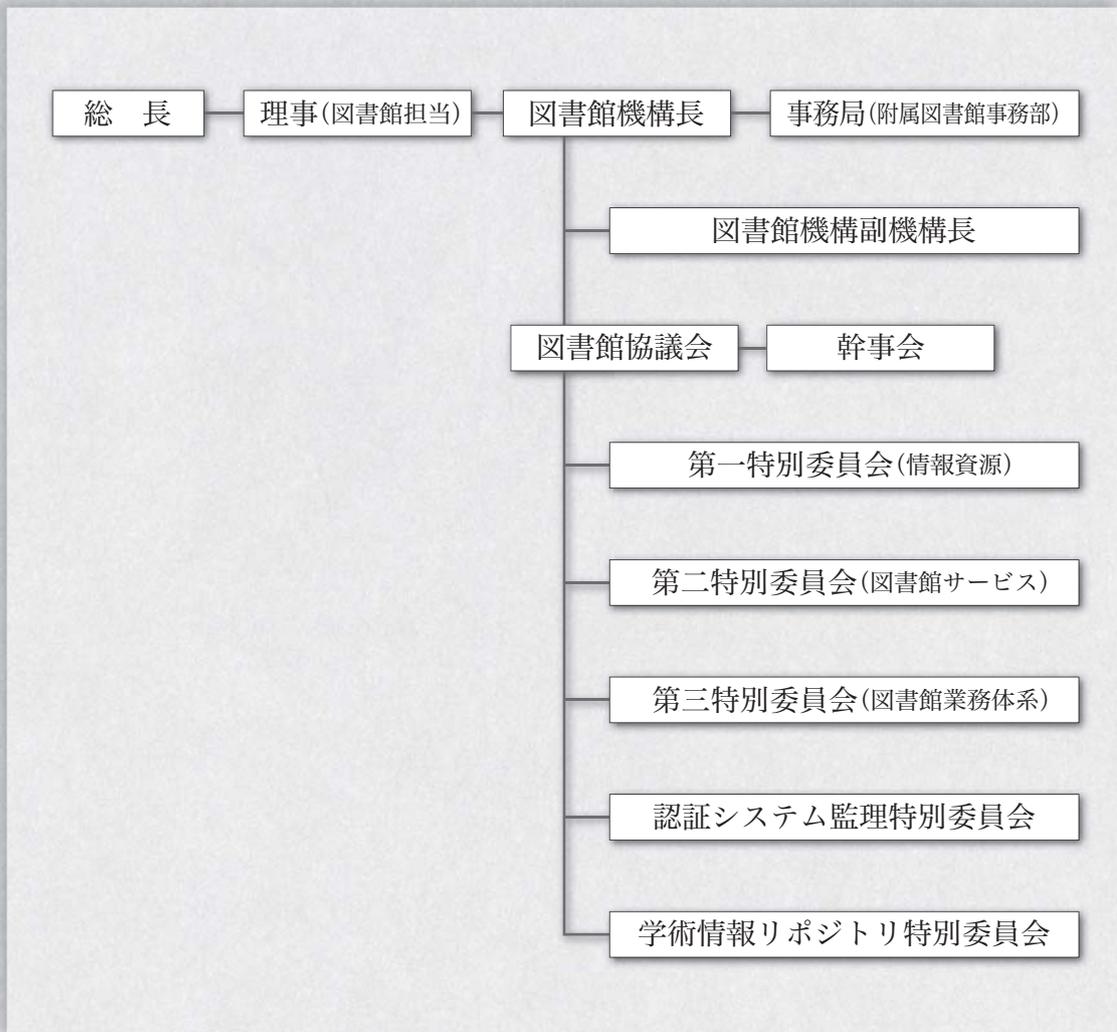
■ 今後10年間の事業目標

1. 学術情報資源の整備：予算確保と蔵書構築
2. 図書館サービスの充実：全学図書館ネットワークの整備
3. 知的成果の発信：学術情報リポジトリの運営
4. 知的資産の保存・管理：電子図書館の運用と保存図書館の整備
5. 利用者の支援：システムの構築とリテラシー教育
6. 人的資源の整備：図書系職員の養成と連携強化
7. 組織力の強化：図書館機構の機能充実と相互協力
8. 対外活動の推進：社会貢献と他機関との交流



図書館機構の構成

1 組織図



* 図書館機構長は附属図書館長を兼ねる。

* 図書館協議会構成

図書館機構長(議長)、理事(図書館担当)、図書館機構副機構長、宇治分館長、部局選出の構成協議員、附属図書館事務部長、その他総長が必要と認める教員で構成

* 幹事会

理事(図書館担当)、図書館機構長、図書館機構副機構長、宇治分館長、特別委員会委員長、附属図書館事務部長、その他機構長が必要と認める者

2 歴代図書館機構長等

■ 理事（図書館担当）

	氏 名	就 任 ～ 退 任
初 代	金 田 章 裕	平成 16.04.12 ～ 平成 17.09.30
第 2 代	丸 山 正 樹	平成 17.10.01 ～ 平成 20.09.30
第 3 代	大 西 有 三	平成 20.10.01 ～

■ 図書館機構長（附属図書館長を兼ねる）

	氏 名	就 任 ～ 退 任
初 代	大 西 有 三 (工)	平成 17.04.01 ～ 平成 20.09.30
	大 西 有 三 (事務取扱)	平成 20.10.01 ～ 平成 20.10.31
第 2 代	藤 井 讓 治 (文)	平成 20.11.01 ～

■ 図書館機構副機構長

	氏 名	就 任 ～ 退 任
初 代	森 棟 公 夫 (経)	平成 17.06.01 ～ 平成 18.03.31
第 2 代	岡 田 知 弘 (経)	平成 18.04.01 ～ 平成 20.09.30
第 3 代	岡 田 知 弘 (経)	平成 20.12.16 ～

3 図書館機構事務局



- 明治**
- 30(1897)年 ▶ 6月 京都帝国大学創立、附属図書館設置
 - 32(1899)年 ▶ 12月 閲覧室開室(11日。この日を附属図書館創立記念日とする。)
 - 41(1908)年 ▶ 12月 「附属図書館商議会議程」制定
- 平成**
- 15(2003)年 ▶ 7月 附属図書館商議会議に政策委員会を設置【～平成16年3月】
 - 12月 部局長会議に図書館検討WG設置(主査：金田副学長)【～平成16年2月】
 - 16(2004)年 ▶ 3月 図書館検討WGの報告を受けて、部局長会議で「京都大学図書館機構(仮称)」と「京都大学図書館協議会(仮称)」の設置を了承
 - 4月 京都大学図書館協議会発足
(附属図書館商議会議程廃止、附属図書館運営委員会規程を別に制定)
 - 6月 京都大学図書館協議会に京都大学図書館機構規程等検討WGを設置
(主査：丸山協議員)【～平成17年1月】
 - 17(2005)年 ▶ 4月 京都大学図書館機構発足
第一特別委員会、第二特別委員会、第三特別委員会を設置
 - 5月 分館の在り方検討特別委員会を設置
 - 18(2006)年 ▶ 4月 認証システム監理特別委員会を設置
 - 5月 学内デリバリー運用開始(平成19年7月から専用便へ移行)
 - 6月 学術情報リポジトリ試験公開(10月から正式公開)
 - 19(2007)年 ▶ 3月 電子ジャーナル・データベース認証システム公開テスト開始(4月から本運用)
「京都大学図書館機構の基本理念と目標」制定
 - 4月 外国雑誌業務センター設置
図書館機構に基盤強化経費の予算措置
 - 20(2008)年 ▶ 3月 「京都大学図書館機構の将来構想案」発行
 - 4月 電子ジャーナル経費の共通経費化実施
学術情報リポジトリ特別委員会を設置
(学術情報リポジトリ検討委員会：平成17～19年度：を改組)
 - 12月 利用者アンケート調査実施
 - 21(2009)年 ▶ 12月 「京都大学図書館機構将来構想」承認



蔵書統計

(2010年3月31日現在)

部 局 名	2009年度受入冊数			蔵書冊数			目録情報入力冊数累計		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計	和書	洋書	計
附属図書館	13,026	2,944	15,970	600,752	252,265	853,017	442,963	194,197	637,160
附属図書館宇治分館	381	909	1,290	11,944	54,883	66,827	10,091	38,590	48,681
文学研究科・文学部	12,768	10,196	22,964	623,596	401,031	1,024,627	404,491	382,364	786,855
教育学研究科・教育学部	2,134	1,025	3,159	91,339	65,771	157,110	87,142	61,007	148,149
法学研究科・法学部	6,285	4,623	10,908	294,898	381,517	676,415	196,165	253,924	450,089
経済学研究科・経済学部	3,577	1,965	5,542	274,560	252,248	526,808	248,571	229,209	477,780
理学研究科・理学部	1,103	1,920	3,023	44,402	187,149	231,551	34,539	144,356	178,895
医学研究科・医学部	2,443	1,130	3,573	88,814	152,804	241,618	81,462	134,023	215,485
薬学研究科・薬学部	217	128	345	11,072	27,668	38,740	10,732	26,152	36,884
工学研究科・工学部	1,807	1,532	3,339	138,402	205,721	344,123	114,109	149,301	263,410
農学研究科・農学部	1,384	1,032	2,416	142,853	126,525	269,378	86,844	68,875	155,719
人間・環境学研究科・総合人間学部	7,778	3,606	11,384	301,944	266,201	568,145	256,742	196,954	453,696
エネルギー科学研究科	47	198	245	4,305	5,077	9,382	5,289	3,623	8,912
アジア・アフリカ地域研究研究科	446	5,425	5,871	12,947	84,050	96,997	12,654	82,915	95,569
情報学研究科	544	669	1,213	16,565	54,677	71,242	15,947	54,335	70,282
生命科学研究所	0	0	0	54	60	114	30	55	85
地球環境学堂・学舎	911	833	1,744	2,133	1,854	3,987	2,133	1,853	3,986
公共政策連携研究部・公共政策教育部	268	35	303	919	163	1,082	919	163	1,082
経営管理連携研究部・経営管理教育部	92	198	290	943	331	1,274	943	331	1,274
人文科学研究科	4,077	851	4,928	487,823	85,700	573,523	202,751	77,503	280,254
再生医科学研究科	1	75	76	442	4,568	5,010	88	713	801
基礎物理学研究所	216	1,237	1,453	9,246	84,886	94,132	6,537	66,781	73,318
ウィルス研究所	0	17	17	305	3,307	3,612	297	2,843	3,140
経済研究所	443	607	1,050	41,474	37,685	79,159	41,152	37,712	78,864
数理解析研究所	160	2,049	2,209	7,199	82,236	89,435	6,921	78,779	85,700
原子炉実験所	255	276	531	14,744	36,252	50,996	14,555	31,475	46,030
霊長類研究所	92	244	336	7,405	17,196	24,601	7,337	17,264	24,601
東南アジア研究所	445	2,813	3,258	27,299	141,752	169,051	23,893	102,939	126,832
学術情報メディアセンター	22	2	24	5,931	12,715	18,646	3,851	7,543	11,394
放射線生物研究センター	13	0	13	502	2,036	2,538	440	2,081	2,521
生態学研究センター	122	176	298	8,670	6,178	14,848	8,620	6,149	14,769
地域研究統合情報センター	44	240	284	51	40,831	40,882	4,729	20,941	25,670
放射性同位元素総合センター	30	4	34	154	53	207	184	23	207
環境保全センター	38	27	65	613	1,379	1,992	292	1,372	1,664
国際交流センター	0	0	0	5	0	5	0	0	0
高等教育研究開発推進センター	33	10	43	2,552	1,014	3,566	2,490	881	3,371
産官学連携センター	33	24	57	613	47	660	613	47	660
フィールド科学教育研究センター	122	46	168	13,887	8,550	22,437	6,099	5,017	11,116
福井謙一記念研究センター	0	0	0	58	7	65	58	7	65
こころの未来研究センター	5	2	7	92	162	254	91	162	253
野生動物研究センター	0	0	0	41	0	41	41	0	41
保健管理センター	0	0	0	7	15	22	0	0	0
大学図書館	0	0	0	696	0	696	696	0	696
計	61,362	47,068	108,430	3,292,251	3,086,564	6,378,815	2,343,501	2,482,459	4,825,960

(注)附属図書館宇治分館は、化学研究所・エネルギー理工学研究所・生存圏研究所・防災研究所の蔵書数等を含めた数

コレクションの構築

電子ジャーナルの安定供給
大型コレクションの整備
学生用図書 充実

電子ジャーナルの安定供給

電子ジャーナルは、今や研究のライフラインとして必要不可欠な情報源になっています。しかし、電子ジャーナルは基本的に有料で提供されているものであり、冊子体も含めて毎年値上がりする傾向にあります。

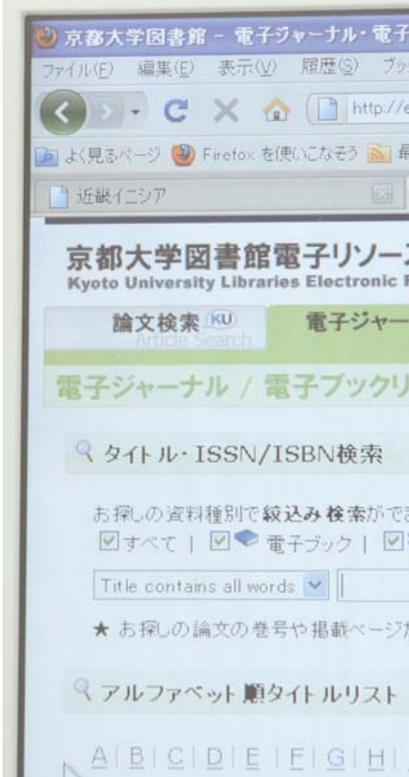
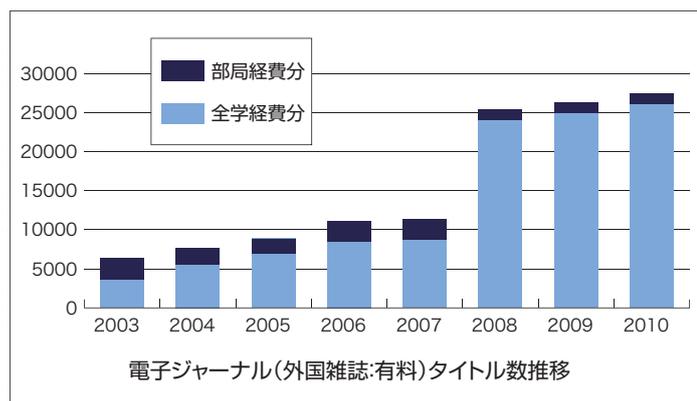
図書館機構では、電子ジャーナルの安定的供給を図るため、全学的な経費確保の枠組み作りの検討を重ねてきましたが、その結果、2008年度から以下の方針が実施されることになりました。

- 電子ジャーナル主体の契約に移行する
- 共通化対象誌は全学利用の電子ジャーナルに限定する
- 経費は、全学的経費と部局分担経費により負担する
- 部局分担額は、教育研究基盤経費比率に傾斜を加味して算出する
- 冊子体購読は各部局の裁量とする

なお2011年度からは、部局分担額の算出に利用度を加味するなど、より適正な分担方法の適用を予定しています。

この結果、全学で利用できる電子ジャーナル（外国雑誌）は、有料のものだけで、11,060タイトル（2007年度）から27,000タイトル（2010年度）に増加し、無料公開されているオープンアクセスジャーナルを含めると、その数はのべ60,000タイトル以上（2010年度）と大幅に充実させることができました。また、これらを有効に活用していただけるよう、全点の電子ジャーナルリストも提供しています。

電子ジャーナルに対する需要は、今後ますます増大することが見込まれます。国内発行の電子ジャーナルを含めた対象誌の拡充と経費確保が課題です。



大型コレクションの整備

大型コレクションとは、全国の国立大学附属図書館が学内・学外の研究者の共同利用を目的に、文部科学省から予算措置を受けて収集された資料です。しかし、2002年度以降予算措置が廃止となったことにより、計画的に大型コレクションを整備する途がなくなりま

した。

これを受け、図書館機構は2007年度から部局単独で購入することが困難でかつ共同利用にふさわしい大型コレクション等の整備を図ることを目的として、各部局への購入希望の調査と、全学協力経費の申請を行っています。

2009年度購入資料

『源氏物語』（写本・文学研究科所蔵）

『中国海関档案史料』（マイクロフィルム・経済学研究科所蔵）

『Straits Times（英字日刊紙 ストレーツ・タイムズ）』（マイクロフィルム・東南アジア研究所所蔵）

『The Times Digital Archive 1785-1985（英字日刊紙<ロンドン>タイムズ）』（オンライン版フルテキストデータベース）

学生用図書の実

学生用図書の充実、中期目標に掲げられている自学自習を促進する教育環境の整備において、重要な部分を担っています。

図書館機構では、学生一人当たり1冊の提供を目標に、新刊図書を中

心に全分野からバランスよく基本的な学習用図書を収集し、学部学生の利用が多い附属図書館と人間・環境学研究科総合人間学部図書館に配備しています。

年度	学生用図書購入冊数	学生数	学生一人当たりの購入冊数
2005	11,995	13,254	0.91
2006	12,648	13,278	0.95
2007	12,695	13,381	0.95
2008	17,093	13,399	1.28
2009	14,859	13,417	1.11

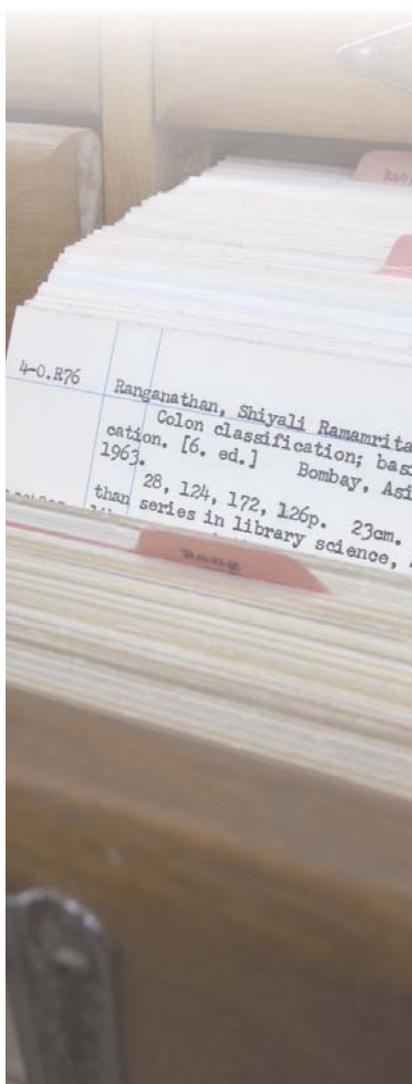
コレクションの構築

電子ジャーナルの安定供給
大型コレクションの整備
学生用図書の充実



アクセスの提供

全学遡及入力推進 全学共通科目「情報探索入門」

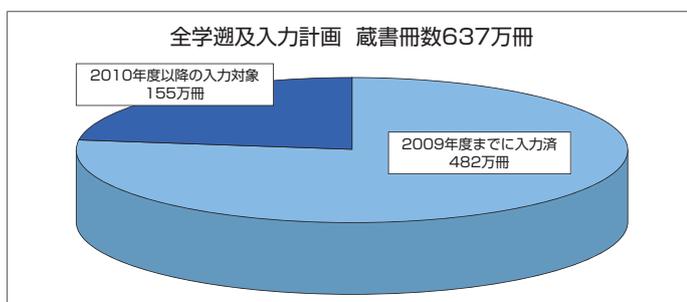


全学遡及入力の推進

京都大学は、大学創設以来110年に亘って貴重な図書館資料を収集・蓄積し、その蔵書数は国立国会図書館、東京大学に次ぐ国内第3位の637万冊です。図書館機構では、図書館資料の利用を促進し、資料への最善のアクセスを提供するために、2004年度から2009年度までを第1期として6ヵ年計画を策定し、全学的な取り組みとして図書目録情報の全学遡及入力事業を

進め、既入力分と合わせ、482万冊の入力を達成しました。

今後の遡及入力は、書誌データ作成が必要な資料が主となってくることから、1冊あたりに要する作業時間が少しずつ増えていくと見込まれますが、それらの状況に合わせた第2期(2010～2015年度)計画を策定し、引き続き、入力を進めていく予定です。



全学共通科目「情報探索入門」のサポート

「情報探索入門」は1998年当時の長尾真総長と附属図書館の発案のもとで開始された授業科目です。全学部の学生を受講対象にした京都大学初の学術情報リテラシー専門科目で、複数名の教員による「分類」「目録」等主題ごとのリレー式講義と、図書館やパソコンを使つての演習があります。毎年各

部局の図書館員（主として若手職員）10数名が、担当教員とともに演習問題の作成等演習をサポートし、授業に深く関わっています。

この科目は学生からも高い評価を受け、2007年度からは図書館機構提供の授業科目として継続しています。



資料保存の取り組み

附属図書館や部局図書館室の書庫での、カビの発生や水損事故が起きたことを契機として、2007年1月に附属図書館研究開発室から「京都大学図書館機構・資料保存環境調査趣意書」が提出され、「京都大学図書館機構所蔵資料保存環境アンケート」が実施されました。このアンケートは、全学の業務改善検討委員会の元に設置された資料保存環境整備部会が分析し、2008年3月に報告書を作成しました。

報告書作成以降も以下のような取り組みをしています。

- 「図書館資料保存環境整備マニュアル(書庫環境編)」と付録「書庫環境チェックリスト」の改訂と調査・集計・改善点の提案

- 「図書館資料保存環境整備マニュアル(マイクロフィルム編)」と付録「マイクロフィルムチェックリスト」の作成と調査・集計・改善点の提案
- 上記マニュアルの京都大学学術情報リポジトリ(KURENAI)公開
また、能力開発・研修部会と協力して資料保存実務研修を行い、スタッフの保存技術の向上を目指しています。



知的資産の 保存管理

資料保存の取り組み 貴重書の修復

貴重書の修復

京都大学は、国指定の国宝・重要文化財をはじめ多くの貴重な古典籍・古文書を所蔵しています。これらのほとんどが原本であるため、研究の対象として利用されるとともに、研究成果として紹介され、閲覧・公開に供されてきましたが、長い保存年月と利用による虫損・劣化が著しい資料も少なくありません。傷みの激しい資料につ

いて、大学として総合的に検討し、緊急性の高いものを教育・研究の資料として活用に耐えうる状態にすることを目的に、貴重古典籍・古文書の修復を実施しています。

2009年度は、文学研究科、総合博物館が所蔵する貴重古典籍・古文書等について修復・修理を行いました。また、附属図書館では貴重書8点を修復しました。

2009年度修復資料

文学研究科

- ・貴重書「范文恪先生雙栢堂集」20巻10冊
- ・「詞林三知抄」1冊、「江湖風月集訓解添足」8冊

総合博物館

- ・『広輿考』全3巻(継続修復)
- ・考古遺物『庵寺山古墳出土鞍形古墳埴輪』

附属図書館

- ・谷村文庫「撰時抄」
- ・中院文庫「詠歌大概聞書草」「伝心抄」「源氏詞清濁」「古今秘密抄」「詠歌大概」「古今秘注抄」
- ・一般貴重書「大般若波羅蜜多經」



情報サービス 体制の構築

学内図書デリバリーサービス



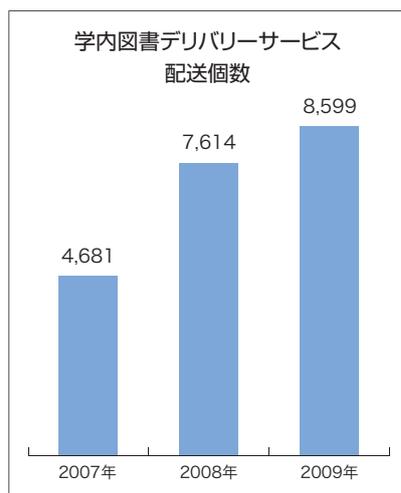
学内図書デリバリーサービス・ キャンパス間返送サービス

「学内図書デリバリーサービス」は、学内の利用者に時間的、経費的負担をかけないで、遠隔地キャンパスから図書を取寄せることができるサービスです。2007年7月から運用開始された新配送サービスにより、①本部地区、桂地区、宇治地区の3地区を結ぶ配送業者によるルート便（図書専用便）と、②それ以外の遠隔地間を直接結ぶ直送便（宅配便）、の組み合わせで学内の図書館室、施設がほぼ網羅され、従来の学内便（事務室間文書配達便）では配送できなかった地

区も配送エリアに含まれました。

このことにより、資料をより安全・確実に、無料で最寄りの図書館室まで取り寄せることができるようになりました。

2009年6月からは、新配送サービスを活用した「キャンパス間返送サービス」も開始しました。



これは、かねてから要望の多かった利用者が離れたキャンパスで借りた資料を最寄りの図書館室で返却できるサービスで、これにより学内利用者の利便性もさらに向上しました。

能力開発・研修の取り組み

図書館機構にとって、図書館利用者から十分に信頼・評価される事業・サービスの充実は不可欠であり、それを実現するためには、図書館職員の資質向上がますます重要となっています。

そのために業務改善検討委員会の元に能力開発・研修部会を設置して、図書館職員の能力開発・資質向上のため、毎年さまざまな研修・講演会を企画立案し、開催しています。

2009年度開催研修・講演会

5月11,19,20日	図書館業務システム研修	目録,取書,閲覧,ILL
5月12,13日	図書系職員初任者研修	
7月2日	平成21年度第1回講演会	『京都大学における大学文書館の仕事と役割』
7月16日	情報セキュリティ講習会	
7月16日	個人情報保護に関する講習会	
11月10日	閲覧研修	『障害学生への図書館サービス 入門編』
11月27日	平成21年度第2回講演会	『次世代OPACを考える —目録情報の視点から—』
12月8日	実務研修「資料保存」	『革装丁本のレッドロット対策について』
12月17日	実務研修「取書」	『取書のための会計ルール —業務システムのバックグラウンド』
2月19日	平成21年度第3回講演会	『連想検索システムと次世代OPAC』
2月23日	実務研修「レファレンス」	『海外の資料・情報の探しかた講座 ：中国関係資料編』



11月27日第2回講演会『次世代OPACを考える』パネルディスカッション

スタッフの スキル向上

能力開発・研修の取り組み



京都大学学術情報リポジトリ「KURENAI」

京都大学図書館機構では、京都大学の研究・教育成果を社会に発信する「京都大学学術情報リポジトリ（KURENAI）」を構築し、2006年からインターネット上で公開しています。

KURENAIでは、日々創造される本学の研究・教育成果（学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文、科研費報告書など）を電子的に収集し、永続的に蓄積して、誰もが無料で読めるように公開しています。



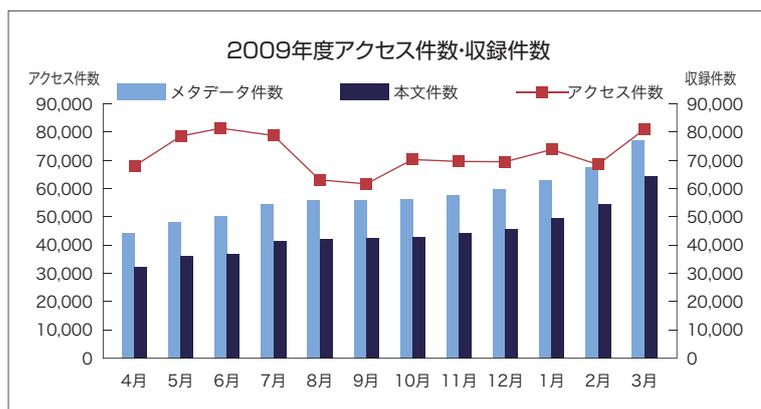
本事業を通じて、図書館機構は本学の中期目標・中期計画にある「研究活動の成果を広く社会に還元する」や「学術情報の公開を通じて、社会に対する説明責任を果たす」といった目標・計画を支援するとともに、本学の研究活動や研究者を広く社会にアピールしています。

2009年度の1年間にダウンロードされた論文の件数は80万件を超え、月平均約72,000件のアクセス数がありました。



知的成果の蓄積・発信

機関リポジトリ



2009年度京都大学学術情報リポジトリに関するおもなトピック

- ・スペイン高等科学研究院が作成する世界の機関リポジトリ・ランキングで国内第1位、世界第24位の評価（2009.7）
- ・博士学位論文1000件を公開（2009.8）
- ・新しく発足した応用哲学会の査読誌『Contemporary and Applied Philosophy』をOpen Journal Systemsで公開（2009.10）
- ・KURENAIの取り組みや最新情報をお知らせするKURENAI updateを開始（2009.12）
- ・日英言語切替、アクセス統計表示などKURENAIのWebサイトを大幅リニューアル（2010.1）
- ・2009年によく読まれた論文を発表／年間ダウンロード数80万件（2010.2）
- ・収録論文数が6万件を突破（2010.3）

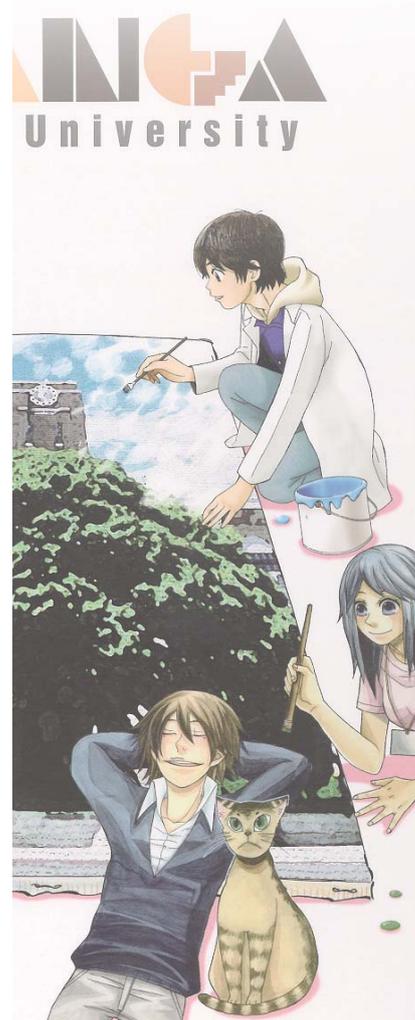
2009年にもっともよく読まれたコンテンツは、マンガによる京都大学紹介冊子『MANGA Kyoto University』でした。このほか、技術系や医学・看護系の紀要論文や学位論文、『魏晉石刻資料選注』など東洋史関係の図書や論文などもよく読まれ

ています。

京都大学学術情報リポジトリでは、今後も多様な研究分野の論文等を積極的に収集・発信し、本学の研究成果により一層アクセスしやすくなるように努めてまいります。

2009年 アクセスランキング

順位	種別	著者	タイトル	掲載誌等	アクセス
1	図書	京都大学・京都精華大学 マンガプロジェクト	MANGA Kyoto University		6,836
2	紀要論文	稲津 雅弘	〈産業界の技術動向〉 ハイブリッド車の現状と今後	Cue：京都大学電気関係教室 技術情報誌； 2008, 20, 8-11	2,533
3	図書	三國時代の出土文字資料班	魏晉石刻資料選注	京都大学人文科学研究所. 2005	2,298
4	年報		Annual Report of the Institute for Virus Research, Kyoto University	Vol.50, 2007	2,215
5	紀要論文	笠原 勝幸；小田 裕造 飯田 寛和；中村 孝志	人工股関節全置換術(THR)術後の股 関節脱臼について.	京都大学医療技術短期 大学部紀要； 1999, 19(1), 1-9	2,054
6	学位論文	川原村 敏幸	ミストCVD法とその酸化亜鉛薄膜 成長への応用に関する研究	博士(工学), 2008	1,819
7	図書	狭間 直樹	梁啓超：西洋近代思想受容と明治 日本：共同研究	みず書房, 1999	1,718
8	図書	田尾 雅夫	「会社人間」の研究：組織コミッ トメントの理論と実際	京都大学学術出版会, 1997	1,682
9	会議論文	京都大学21世紀COEプログラム 東アジア世界の人文情報学研究 教育拠点	中国宗教文献研究国際シンポジウ ム報告書	京都大学人文科学研究所, 2004	1,533
10	紀要論文	池添 冬芽	高齢者の体力づくり (第17回健康科学公開講座4)	京都大学医学部保健学科 紀要：健康科学；1,39-45	1,525



KULINE サービス

～Web サービスの充実に向けて～

利用者支援 システムの構築

KULINE サービス



図書館機構では蔵書検索システムKULINE(クライン)を中心としたいくつかのオンラインサービスをKULINEサービスと呼んでいます。

KULINEでは京都大学で所蔵されている紙の図書や雑誌のほか、電子ジャーナルや電子ブックなど、紙・電子といったメディアを区別することなく、京都大学で利用可能な資料を一元的に検索することができます。

KULINEでは、貸出中の資料のオンライン予約や、京都大学に所蔵されていない資料を他大学等から取り寄せる文献の取寄せサービス(ILL)を申込むことができます。また、関心のあるキーワードを登録しておく、条件に当てはまる資料をメールでお知らせするKULINEアラートサービスもあります。このようにユーザが探している資料が見つからなかった場合のフォローにも力を注いでいます。また、MyKULINE(マイ・クライン)では自分が借りている資料を確認したり、貸出期限を更新することができます。

これらのKULINEサービスのうち蔵書検索と資料の予約・貸出更新は携帯電話からも利用できます(ケータイKULINE)。また学生のみさんは情報環境機構が提供している「全学生共通ポータル」からもMyKULINEを利用することができます。

ユーザが求める資料を適切に発見・入手できるようなサービスを作り上げていくことが図書館機構の使命のひとつですが、それをweb上で実現していくのがKULINEサービスの役割です。今日では便利なwebサービスが次々と登場しています。図書館機構でもwebに慣れ親しんだユーザの利用スタイルと潜在的

なニーズを把握し、それに応じた機能の向上やユーザインタフェースの改善を続けていきたいと考えています。さらに、説明がなくても直観的に使えるシンプルなサービスを実現していくこともKULINEサービスの課題のひとつです。京都大学では図書館機構を含めたさまざまな部署がサービスを提供しており、その結果システムは分散化・複雑化しがちです。大学全体のサービスの一部としてKULINEサービスを提供していくという視点が重要です。図書館機構ではこれらの課題を解決するために、積極的に他大学のシステムだけでなく優れたwebサービスについて情報収集し、よりよいKULINEサービスの提供に取り組んでいます。



公開事業・企画展

～対外活動の推進～

京都大学附属図書館では、明治33年12月の「本館創立1周年記念展覧会」以来、定期的に展覧会や講演会を開催して、学内関係者のみならず、広く一般の方々を対象に公開事業を実施してきました。

図書館機構発足後は、貴重資料の展示だけでなく、学術情報基盤やリポジトリをテーマにした討論会や

シンポジウムも開催しています。

2009年度は総合博物館を会場に、「日本近代建築の父」ジョサイア・コンドルの美しい建築図面（京都大学所蔵、重要文化財）の展示会を実施し、17日にわたる開催期間中に2,188人の入場者がありました。



2009年度公開企画展 記念講演会「ジョサイア・コンドルと日本文化」
高橋康夫教授（工学研究科）（12月11日 総合博物館ミュージアムラボ）

図書館機構主催の公開事業・企画展

2005年11月15日～12月18日	『京都大学の学術情報基盤の未来を考える』
2006年12月20日	『発信する学術情報コンテンツ —京都大学学術情報リポジトリ構築のために—』
2007年10月24日	『大学のたわわな果実がどれほど 甘く熟しているかをじっくり味わうには』
2007年12月4日～12月24日	『古典籍がよみがえる —京都大学貴重資料修復記念展—』
2009年12月2日～12月24日	『日本文化に見た夢 お雇い外国人建築家コンドル先生』

社会・地域 への貢献

公開事業・企画展





京都大学の図書館室



● 吉田キャンパス

本部構内
(電話=4ケタは内線・外線は 075-753-****)

図書館室名	電話
01 附属図書館	2632
04 文学研究科図書館	2715
041 文学研究科学術雑誌閲覧室	2461
05 教育学研究科・教育学部図書室	3016
06 法学研究科・法学部図書室	3114
061 法・国際法政文献資料センター	3109
07 経済学研究科・経済学部図書室	3412
08 経・調査資料室	3416
30 工学研究科図書掛	5048
31 工・工業化学科図書室	5556
32 工・電気系図書室(吉田)	5360
33 工・建築系図書室(吉田)	5761
34 工・地球工学科図書室	5118
35 工・物理系図書室	5187
36 工・航空宇宙工学図書室	5810
53 人文科学研究所図書室	6909
55 エネルギー科学研究科図書室	3591
56 情報学研究科図書室	5390
57 地球環境学堂図書室	5631
58 学術情報メディアセンター図書室	7416
59 環境保全センター図書資料室	7701
63 経済研究所図書室	7107
71 アジア・アフリカ地域研究研究科 アジア専攻図書室	9638

北部構内
(電話4ケタは内線。外線は 075-753-****)

図書館室名	電話
10 理学部中央図書室	3622
11 理・数学教室図書室	3703
12 理・物理学教室図書室	3803
13 理・宇宙物理学教室図書室	3900
14 理・地球惑星科学専攻図書室	3920 4152
16 理・化学教室図書室	3966
17 理・生物科学図書室	4082
51 農学研究科・農学部図書室	6016
52 農・生物資源経済学専攻司書室	6201
54 東アジア人文情報学 研究センター図書室	6990
61 基礎物理学研究所図書室	7007
62 数理解析研究所図書室	7223
84 フィールド科学教育研究センター 森林系図書室	6432

吉田南構内
(電話=4ケタは内線・外線は 075-753-****)

図書館室名	電話
03 人間・環境学研究科 総合人間学部図書室	6525
医学部・薬学部・病院構内 (電話=4ケタは内線。外線は 075-753-****)	
図書館室名	電話
21 医学図書室	4313
22 医学図書人間健康科学系 図書室(医学図書館分室)	075-751-3911
23 薬学研究科・薬学部図書室	4595
24 再生医科学研究所図書室	075-751-3822
25 ウイルス研究所図書室	075-751-4006
71 アジア・アフリカ地域研究研究科 アフリカ専攻図書室	7816
72 東南アジア研究所図書室	7306
73 地域研究統合情報 センター図書室	9617

● 桂キャンパス (電話=6ケタは内線。外線は075-383-****)

図書館室名	電話
41 工・化学系図書室(桂)	15-2581
42 工・電気系図書室(桂)	15-2344
43 工・建築系図書室(桂)	15-2962
44 工・地球系図書室(桂)	15-3146

● 宇治キャンパス

図書館室名	電話
02 附属図書館宇治分館	0774-38-3010

● その他のキャンパス

図書館室名	電話
原子炉実験所図書室	072-451-2311
霊長類研究所図書室	0568-63-0516
生態学研究センター図書室	077-549-8230
フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所図書室	0739-42-3515

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



2010(平成22)年7月発行

編集・発行：京都大学図書館機構
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL.075-753-2613 FAX.075-753-2629

